

金正恩国防委員会第一委員長へ抗議書を郵送

～北朝鮮が強行した水爆実験に強く抗議～

河内長野市

平成28年1月7日

河内長野市の芝田啓治市長は、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）が水爆実験を強行したことに対し、1月7日、北朝鮮の金正恩国防委員会第一委員長に抗議書を郵送した。

抗議書の中で芝田市長は、「世界の平和世論に抗して行った今回の水爆実験は、日・朝平壤宣言を無視した行為である」とし、「非核平和宣言都市である本市は、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴える」と、北朝鮮に対し抗議する姿勢を示した。

添付書類

別紙① 抗議書

別紙② 「非核平和都市宣言」に関する決議

問い合わせ 河内長野市総合政策部人権推進課 (☎0721-53-1111)

河長政権第 154号

平成28(2016)年1月 7日

朝鮮民主主義人民共和国

国防委員会第一委員長 金正恩 様

日本国大阪府河内長野市長 芝田 啓治

抗議書

世界の平和世論に抗し、2016年1月6日に貴国が強行した今回の水爆実験は、日朝平壤宣言に違反し、対話を通じた問題解決に逆行するものである。非核平和宣言都市である本市は、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴えているものであり、断固として非難し、厳重に抗議する。

○「非核平和都市宣言」に関する決議

昭和 59 年 9 月 28 日

決議

真の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。

しかしながら、近年世界において軍備の拡張は依然として続けられ、地球を滅亡させる核戦争の危機に深刻な脅威を与えている。

我が国は、世界で唯一の核被爆国として、全世界から永久に核兵器を追放するために全力を注ぎ、再びその惨禍を絶対に繰り返させてはならない。

我が河内長野市においても日本国憲法に掲げられた恒久平和主義の理念を市民生活の中に生かし、継承させていくことが、地方自治の基本条件の一つであり、これがなくしては緑の健康都市を標ぼうし、[河内長野市民憲章](#)のめざすよりよき社会環境は望めない。

よって、河内長野市は市民総意のもと、政府に対し国是である非核三原則(作らず、持たず、持ち込ませず)の厳守を求めるとともに、あらゆる国のあらゆる核兵器も拒否し、全世界に核兵器の廃絶を強く訴え、ここに非核平和都市となることを宣言する。

以上決議する。